

野外彫刻清掃

日時 | 2020年10月3日[土] 9:30-11:00
 場所 | 知立市図書館・公園通線周辺
 参加者 | 25名

知立市内に設置されている彫刻作品を磨く活動を通して、作品や野外彫刻のある風景への愛着、芸術への関心を持つきっかけとなることを願い彫刻清掃活動を実施しました。市民の方をはじめ愛教大の卒業生や行政の方など25名の参加者で、知立市図書館、公園通線周辺の彫刻11点をきれいに再生させ、周辺の草刈りやゴミ拾いを実施しました。
 作品に触れ、長年の汚れを落とす作業を通し、彫刻作品へのさらなる愛着を感じてもらえたと同時に、作品がきれいになったことで、参加者の方々に限らず、多くの方々に改めて作品をよく観てもらえかけづくりができました。



はじめに、野外彫刻プロムナード展振興運営委員会の顧問である宇納一公氏より、作品の磨き方を学びました。



大理石の作品は、水と耐水ペーパーを使って磨きます。



まずは粗い番手の耐水ペーパーを使用し、最後は2000番の番手で丁寧に磨きます。



磨きすぎないように、注意しながら作業を進めていきます。



大きい作品も、くると優しくこすることで、みるみるうちに汚れが落ち、大理石本来の白さを取り戻していくのがわかります。



前回の彫刻清掃から数年が経ち、うっすらとよごれが付着していましたが、久々に磨いてもらい、作品「かばのもわもわ」も満足そうです。



清掃前と清掃後の「ハッコヨイ」です。茶色のよごれが目立っていましたが、真っ白・ピカピカになり、とても嬉しそうです。



今回の清掃活動は、20周年記念事業の一環で実施し、記念品をお渡ししました。愛知教育大学彫刻研究室の永江先生に制作していただいた焼き物マグネットです。「池鯉鮒にコイ」というテーマで、鯉をかたどった可愛い焼き物になっています。



お疲れさまでした。彫刻清掃活動にご参加いただき、ありがとうございました。今後も、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。